

平成 23 年度第 3 回(第 29 回)CPD WG 委員会議事録

日時：平成 23 年 10 月 25 日（水）10:00～12:00

場所：日本工学会事務所（港区芝 5-26-20 建築会館 6 階）

出席予定者（順不同、敬称略）：

主査 関田 真澄（日本冷凍空調学会 事務局長）
委員 木村 軍司（電気学会／首都大学東京 名誉教授）
委員 児玉 公信（情報処理学会／情報システム総研 取締役副社長）
委員 工藤 和彦（原子力学会/九州大学東アジア環境研究機構 特任教授）
委員 岡田 恵夫（日本技術士会／オカダ・アソシエーション 代表）
委員 鈴木 忠道（電子情報通信学会／富士通研究所）
委員 地主 裕子（地盤工学会／笹倉委員の代理）
事務局 四戸 靖郷

配布資料：

CPD11-29-1：前回(第 28 回)CPD-WG 議事録

CPD11-29-2：平成 23 年度第 1 回 CPD 運営会議議事録

CPD11-29-3：CPD ガイドラインアンケート(橋谷案)

議事：

本年度から委員の交代が幾つかあったので、議事に入る前に全員自己紹介が行われた。

関田主査が議長となり議事が進められた。

1. 前回(第 28 回)CPD-WG 議事録確認

前回 CPD-WG（7 月 6 日開催）の議事録案が事務局から提出され、原案通り確認した。

2. 第 1 回運営会議報告

10 月 4 日に開催された平成 23 年度 CPD 協議会第 1 回運営会議の概要(以下)が、事務局から報告された。

(1) CPD-WG の活動経過報告

①ポータルサイトの整備

本年 6 月に本稼働に移行し、HP に公開した。さまざまな形式の個々の不具合も都度対応してきたが、表形式への対応など仕様を追加し、対応範囲を拡大する改良追加発注を、本年 8 月にシステム制作業者に発注した。

②CPD ガイドラインの調査

昨年策定して会員に配布した日本工学会 CPD ガイドラインについてその活用を促進するため、各会員の CPD 運営の現状やガイドラインへの意見などを收拾するアンケート調査を本年度実施することにし、10 月 25 日の WG 委員会で検討を行う。

③今後の課題と対応

- ・ガイドラインのアンケートの際に、合わせてポータルサイトの活用や不具合なども質問するようになった。
- ・ポータルサイトは会員だけの狭い範囲での利用にとどめず、広く一般に利用してもら

うようにするべきである。そのため一般に広く知らせていく必要がある。まずは HP での案内、各学協会での利用拡大をお願いすることになった。

(2) ECE プログラム委員会活動経過報告

① ナノテク ECE プログラムの実施

- ・産総研が実施する「平成 22 年度ナノテク製造中核人材養成プログラム」に ECE プログラムを導入し、産総研と共催の形で同上のプログラム研修を実施した。本会 CPD 協議会から 2 名の講師を派遣し、ナノテク応用技術に関する講義を行った。
- ・全コース修了者 4 名に、ナノテク ECE プログラム委員会中村道治委員長署名の ECE プログラム認定証を交付した。受講者からも好評であり、期待も寄せられている。
- ・産総研同プログラム第 2 回(23 年度)研修も昨年同様共催にて 9 月から実施している。

② 先端計測・ナノ物質 ECE プログラム

- ・2 番目の ECE プログラムとして、物質・材料研究機構(NIMS)が主催し本会が共催して、「先端計測・ナノ物質 ECE プログラム」を本年 10 月 28 日から実施する。
- ・これは物質材料研究の最先端であるナノテクノロジーの基幹技術である先端計測技術の原理を理解し、新機能をもつナノ物質の利用拡大できる高度技術者を育成する。
- ・そのための「物質・材料基礎 ECE プログラム推進委員会」を前本会会長で前 NIMS の理事長の岸輝雄氏を委員長として、ECE プログラム委員会の中に開設している。

③ 今後の計画と検討課題

- ・上記 2 件の着実な実施の上にさらに、環境技術、スマートグリッド等に関する ECE プログラムの立ち上げを企画する。
- ・将来は、学協会が連携して積極的に ECE プログラムを立ち上げられるよう、環境整備を図っていきたい。
- ・ECE プログラムの実施例を蓄積し、同プログラムの社会的認知を広げていきたい。

(3) 平成 23 年度 CPD 協議会講演会

昨年度後半は各作業課題取り組みのため開催できなかった CPD 協議会講演会を本年度後半に開催することとしている。

① 開催時期は 24 年 1 月を予定する。

② プログラム検討

- ・CPD ガイドライン及びポータルシステムの紹介
- ・ECE プログラム実施概要の紹介
- ・講演「技術者のあり方(仮題)」30 分くらい
- ・CPD 事例報告 2 題
- ・パネルディスカッション(テーマ例：CPD とは何か)

③ 詳細はあらためて運営会議を開催して決める。

3. CPD ポータルサイトの現状と追加開発について

担当の児玉委員から以下のように説明があった。

- ① 本年 6 月に完成し公開したが、当初の設計範囲になかった表形式など拾いきれない CPD プログラムもあって、8 月に追加システムの開発委託を行い、現在 1,000 件を超える CPD プログラムが抽出できるようになった。これは満足すべき結果だが、反面、目的のプログラムを見つけるのに手間がかかるようになった。このため、急遽、開催済みを外す、開催予定日が 3 カ月先までに限定して掲載する処置をとった。その結果、現在 274 件に収まっており、検索可能な量になっている。

- ②PDF 掲載など，自動抽出で拾えないものもあり、各学協会の HP での掲載の仕方についてガイドラインを示していく必要がある。
- ③今後保守(メンテナンス)契約も必要になる。

4. CPD ガイドラインの活用に関するアンケート調査の件

本日は不都合で出席できない橋谷理事が事前に作成・提案された「橋谷案」をベースに、各項目ごとに検討が行われた。

改定個所が多岐にわたったため、関田主査が意見集約結果を反映した改定案を作成し、11月7日までに提出することになった。

5. CPD 協議会講演会について

- ①ポータルシステムの紹介を児玉委員に願う。
- ②事例報告は時間の関係で地盤工学会に絞って願うし、公共事業での適用に関する状況に触れていただくようにしてはどうかとの意見が出された。

最後に、次回は 11 月 17 日(木)15:00～17:00(日本工学会)に決めて終了した。

以上